

No. 751

元気いっぱいの両殿下

99円

—横 浜—

6月3日、浩宮、礼宮さまは、ママにつれられて、横浜市の「こどもの国」へ行かれました。牧場で牛をごらんになったり、スベリ台やジャブジャブ池で、水遊びをして大はしゃぎ。ご兄弟そろっての楽しい半日を過ごされました。

うなぎのつかみ取り

96円

—三 重—

本格的な夏の訪れを前に三重県津市の御殿場海岸は楯干網でにぎわっています。ボラ、カイズ、キスなどをつかみ取りする、この伝統的な遊びも、近年の不漁にはかたずもっぱら仕入れウナギがその代役をつとめ観光客のサービスにつとめています。ウナギを海でつかみ取る新商売、京阪神からもお客がつかめかけ人気を呼んでいます。

山 を 守 る

109円

—神 奈 川—

神奈川県南足柄の明神ヶ岳は休日ともなるとハイカーでいっぱい。家族づれや、若者たちの楽しげな姿を横目にみながら、森林巡視員は山をかけづり廻ることになります。それというのも大切な森林をタキ火やタバコの火の不仕末から守るためです。山火事の原因のほとんどがタバコとタキ火の不仕末からといわれています。

今週の焦点

請 負 農 業

257円

—富 山—

富山県の穀倉地帯、礪波郡福野町。豊作ムードの中で始ったミ米づくりも、この地方は兼業農家が多く、人手不足はここでも同じです。上川崎の堀本さんは昨年、仲間二人と請負耕作専門の会社を設立。トラクターや田植機など機械化によって大いに成果を上げています。しかし、こうした新しい米づくりの前に農地法や食糧制度がカベになり、農業のひずみは相変わらず深刻な問題となっています。